

平成 22 年 9 月 10 日現在

研究種目：基盤研究（B）
 研究期間：2007 ～ 2009
 課題番号：19320029
 研究課題名（和文） 中世寺社縁起絵の総合的研究

研究課題名（英文） Comprehensive Studies of Medieval Paintings of Shrine and Temple Origin Stories

研究代表者

佐野 みどり（SANO MIDORI）
 学習院大学・文学部・教授
 研究者番号：60178811

研究成果の概要（和文）：寺社縁起・祖師伝を大画面に描いた中世の掛幅絵を中心対象とし、原本の調査、物語の現地調査を重ね、相対的に研究が手薄となっているこの分野の基礎資料を蓄積するとともに、周辺の仏教説話画・絵巻・垂迹画などとの関係も分析して、関連する専門分野の横断的な議論を深めた。特に、原本調査等にもとづく図柄の読み取りを反映させたトレース図を作成し、展示や出版にも活用した。また海外の日本研究者とともに国際シンポジウムを開催して、作品の魅力を発信することに努めた。

研究成果の概要（英文）：Through first-hand examination of original objects along with fieldwork at key sites, we have accumulated fundamental resources concerning large hanging scroll paintings of shrine and temple origin stories and hagiographies of sect patriarchs from medieval times. We have also deepened the scholarly debate concerning the production and reception of medieval paintings of shrine and temple origin stories through analysis of issues of subject matter and function, and the relationships between various painting techniques in other genres such as painted Buddhist tales, illustrated handscrolls, and Shintô-Buddhist syncretic images. Furthermore, we have created tracings based on first-hand analysis of original works. Since they reflect the close reading of fine patterns derived from the cooperation of artists and scholars, they have proved an effective research method, and the results have been put to use in exhibitions and publications. Lastly, we held an international symposium with scholars of Japan working in other countries, endeavoring to communicate key issues in medieval painting.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007 年度	2,400,000	720,000	3,120,000
2008 年度	2,900,000	870,000	3,770,000
2009 年度	2,900,000	870,000	3,770,000
年度			
年度			
総計	8,200,000	2,460,000	10,660,000

研究分野：日本美術史（日本中世絵画史）
 科研費の分科・細目：哲学／美学・美術史

キーワード：

寺社縁起・掛幅縁起絵・祖師絵伝・仏教説話画・景観表現・物語絵画・宗教儀礼・絵解き

1. 研究開始当初の背景

中世日本においては、寺社の草創や神仏の靈驗、祖師の事蹟などの宗教的物語を絵画化し、宣教・勸進の具、儀礼空間の荘嚴、正統性の証しとする縁起絵・伝記絵が多数制作された。これらの絵画作品は、絵巻形態のものについてはある程度の研究が進んできたが、大画面の掛幅形態のものについては、その質の高さと絵画史上に占める位置にもかかわらず、相対的に研究が停滞している。この状況を改善し、中世絵画史のバランスの取れたパースペクティブを獲得するには、基礎的な調査にもとづく現存諸作例の全体的把握が不足しており、作品の内容や成立背景に備わった、現在の学問諸分野に分断されない総合的な考察が必要とされている。こうした認識に立ち、採択前年度より研究会（中世掛幅縁起絵研究会）を立ち上げて、予備的な調査と議論を重ねており、一層の研究を進める機が熟してきている。

2. 研究の目的

日本中世絵画史のみならず、思想史・文学・歴史学といった中世文化研究にとっても重要な考察対象である掛幅縁起絵・伝記絵を中心とし、その周辺に密接不可分の関係で存在する仏教説話画・垂迹画・絵巻などを視野に入れながら、個別作品に関する基礎的な原本調査と物語舞台である現地調査を蓄積するとともに、個別の作品や主題を越えて、様式や構造・時代性についての全体的な把握を意識して調査を遂行する。

作品世界を理解するために必要な学問分野横断的な調査・議論の場を継続的に持つとともに、海外の日本学・美術史・宗教学の研究者との交流を深めて、日本中世の文脈の自明性を相対化することにも注意を払う。

3. 研究の方法

まず中心的な対象となる掛幅縁起絵・伝記絵の原本調査を進める。悉皆的な調査を目指すが、点数と規模や諸制約の下で、機会の得られた重要作品を軸に、相互関連性を意識しながら作品調査を重ねてゆく。熟覧と接写写真を蓄積して整理するとともに、本研究では特に、基礎資料となるトレース図の作成にも取り組む。物語の梗概を説明するのに利便性の高い要約タイプのもの、肉眼では細部の視認が困難になっている作品の詳細な釈読図タイプのもの、日本画家の協力を得て作図する。

日本美術史を中心としながらも、常に隣接・関連分野の中世文化研究者とともに作品・

現地の調査を行い、各分野での蓄積を持ち寄って共有化し、基礎資料・先行研究の集約をすすめる。また研究会には、必要に応じて個別作品に関する専門研究者、地域で研究を担っている博物館・美術館の学芸員、新しい研究を発表している若手研究者を招いて議論を交わすとともに、学界の外部へと成果を及ぼす方策をも模索する。

4. 研究成果

作品調査・現地調査と、それを踏まえたモノグラフィックな研究としては、「温泉寺縁起絵」、「鞍馬寺縁起絵（模本）」、「清園寺縁起絵」などの論文を発表し、「善光寺如来縁起絵（根津美術館）」、「空也上人絵伝（大倉集古館）」、「三河・越中所在の「法然上人絵伝」「善光寺如来絵伝」「聖徳太子絵伝」諸本およびその法会・絵解きなどの調査を行った。

特に、飯田市美術博物館所蔵「聖徳太子絵伝」全5幅については、所蔵館との良好な協調関係が構築でき、原本調査と現地調査に始まり、学会での報告、研究資料の出版、シンポジウム・展覧会の開催を一連のものとして進めて、逐次、社会還元にも心がけた。美術史学・文化史研究と博物館・美術館との連携では、今後のモデルケースとなりうるし、継続的に取り組みたい課題である。この飯田美博本太子絵伝については、系統関係の近い静嘉堂文庫美術館本・メトロポリタン美術館本を調査することで、検討を深めてもいる。

トレース図の作成では、調査作品の他にも、過去の調査写真を利用して、画家と研究者とで校正を重ねた質の高いものを仕上げ、論文等で利用している。また上述の飯田美博本太子絵伝は、現状は極めて状態が悪く図柄の視認は困難であるが、鎌倉期太子絵伝としては格の高い作品であることから、赤外線写真をも活用して根気強く精緻な作図を行い、赤外線写真全図と完成したトレース図を併置掲載した小冊子を制作しており（『研究資料 飯田市美術博物館所蔵聖徳太子絵伝』）、基礎資料として尊い仕事と評価されている。これをも含めて、シンポジウム「掛幅縁起絵研究の現在—模写・トレース・復元—」（2009年12月12日、学習院大学、報告者8名）を開催し、併せて同大学史料館にて展示も行い、多数の観覧者を得た。この展示の一部は現在、飯田市美術博物館のロビー展示としても利用されている。

研究会では、従来の研究とは異なった専門分野から光を当てて検討を加えた報告や、総合的な視点に立った総括的な概論、あるいは外部の巡礼記研究会シンポジウムへの協力

など、活発な研究会活動と学会への成果の公表を進めた。また、パリ「中世日本の信仰と芸術文化」(2008年3月26日、INALCOと共催、パリ第七大学、報告者7名)、ニューヨーク「中世日本の基層文化—信仰と芸術—」(2009年3月24・25日、メトロポリタン美術館、報告者12名、司会・パネリスト等3名)にて国際シンポジウムを開催し、併せて在外作品の調査を行った。これら主にシンポジウム報告を中心に、18編の論考を集め、佐野・新川・藤原編『中世絵画のマトリックス』(青簡舎、2010年)を刊行した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 27 件)

- 1) 佐野みどり「阿彌陀鈎召圖」(『国華』115-7、23-25頁、2010年、査読あり)
- 2) 藤原重雄「国立国会図書館所蔵「鞍馬縁起」について」(『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』48、2010年、1-9頁、査読なし)
- 3) 阿部泰郎「芸能としての唱導—説経師という芸能者たち—」(『国文学 解釈と鑑賞』74-10、2009年、30-41頁、査読なし)
- 4) 阿部泰郎「聖徳太子絵伝の世界像—平安期聖徳太子信仰のテキスト布置」(『日本語テキストの歴史的軌跡』グローバルCOEプログラム「テキスト布置の解釈学的研究と教育」第8回国際研究集会報告書、2009年、85-92頁、査読なし)
- 5) 阿部泰郎「巡礼記としての『一遍聖絵』—『聖絵』における縁起の位相—」(『巡礼記研究』6、2009年、33-46頁、査読なし)
- 6) 藤原重雄「『玉葉』の「図絵春日御社」参詣をめぐって—夢告に注目して—」(『巡礼記研究』6、2009年、1-22頁、査読なし)
- 7) 高岸輝「室町絵巻の環境と表現—土佐行広から土佐光信・土佐光茂へ—」(『日本文学』58、2009年、41-48頁、査読あり)
- 8) 高岸輝「土佐光信のコミュニケーション—絵師と画料をめぐって—」(『文学』10-5、2009年、174-180頁、査読なし)
- 9) 米倉迪夫「鎌倉時代風景画への覚え書き—風景とその景観属性をめぐって—」(『文学』10-5、2009年、100-120頁、査読なし)
- 10) 藤原重雄「院政期の行事絵と〈仮名別記〉・試論」(『文学』10-5、2009年、150-160頁、査読なし)
- 11) 阿部泰郎「『魂の書物』の発見をめざして—寺院資料調査研究の現場から—」(『日本思想史学』41、2009年、49-55頁、査読あり)
- 12) 佐野みどり「源氏絵研究の現況」(『国華』1358号、2008年、21-33頁、査読あり)
- 13) 原口志津子「高岡・大法寺所蔵新出5幅

対について」(『富山県立大学紀要』18、2008年、97-110頁、査読なし)

- 14) 阿部泰郎「中世宗教テキストの世界像」(『日本文学』57-7、2008年、2-15頁、査読あり)
- 15) 阿部泰郎「『生身』をめぐる思想・造型と説話」(『説話文学研究』43、2008年、119-123頁、査読あり)
- 16) 高岸輝「十五世紀絵画のパーспекティブ—土佐光信のリアリズム—」(『文学』9-3、2008年、99-108頁、査読なし)
- 17) 高岸輝「『融通念仏縁起絵巻』明徳版本の成立」(『室町時代研究』2、2008年、140-153頁、査読なし)
- 18) 高岸輝「美術史の一五世紀」(『日本史研究』546、2008年、46-60頁、査読あり)
- 19) 高岸輝「『清水寺縁起絵巻』の征夷大將軍—坂上田村麻呂と足利義植—」(『大和文華』117、2008年、25-40頁、査読なし)
- 20) 佐野みどり「枕草子絵巻—白描やまと絵と金銀泥絵」(『国文学』52-6、2007年、108-116頁、査読なし)
- 21) 佐野みどり「新出扇面貼交屏風について」(『国華』112-12、2007年、16-28頁、査読あり)
- 22) 佐野みどり「対象と方法—美術史の課題」(『中古文学』79、2007年、23-30頁、査読なし)
- 23) Midori Sano "Faith and Painting in Medieval Japan :Pictorial content of Medieval"engi"scroll"Manggha, CRCOW,2007,pp.21-26
- 24) 阿部泰郎「多武峯の芸能と説話伝承—常行堂修正会と僧賀聖人伝承をめぐって—」(『能と狂言』5、2007年、92-100頁、査読あり)
- 25) 阿部泰郎「中世における<神>の発見」(『日本宗教文化史研究』21、2007年、29~36頁、査読あり)
- 26) 藤原重雄「温泉寺縁起絵」(『国華』1338、2007年、25-28頁、査読あり)
- 27) 藤原重雄「醍醐寺本「温泉山住僧葉能記」について」(『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』39、2007年、9-12頁、査読なし)

[学会発表] (計 15 件)

- 1) 佐野みどり「書芸の風流」(国宝修理装演師連盟五十周年記念大会招待公演、京都府民総合交流プラザ、2009年12月19日)
- 2) 佐野みどり「中世掛幅縁起絵の仕掛け」(志度寺縁起絵シンポジウム、香川県立ミュージアム、2009年12月19日)
- 3) 佐野みどり「総合討議司会」(文化財の保存及び修復に関する国際研究集会 2009年12月6日~8日)、『オリジナルの行方—文化財アーカイブ構築のために—』角川書店、2010

年)

- 4) 阿部泰郎「中世宗教テキスト体系の範疇」(日本宗教文化史学会第13回大会、2009年6月21日、同志社大学)
- 5) 阿部泰郎「霊地を創る太子—四天王寺をめぐる太子宗教テキスト」(名古屋大学・ストラスブール大学共催「文化創造と知の発信としての図像解釈」、2009年9月8日、アルザス・欧州日本学研究センター)
- 6) 下真理子・藤原重雄・織田顕行「図像確認が困難な中世絵画のトレース図の活用と発展—飯田市美術博物館蔵「聖徳太子絵伝」の場合—」(文化財保存修復学会、第31回大会・ポスター発表、2009年6月13日、倉敷市芸文館)
- 7) 佐野みどり「源氏物語と絵画」(『源氏千年紀国際フォーラム』源氏千年紀実行委員会、2008年11月3日、京都・金剛能楽堂)
- 8) 藤原重雄「飯田市美術博物館蔵「聖徳太子絵伝」トレース図作成について」(講演会と研究報告「中世説話画研究の可能性—真宗絵伝を中心に—」2008年9月15日、飯田市美術博物館)
- 9) 阿部泰郎「西行における〈神〉の発見」(西行学会創設第1回大会、2008年8月29日、國學院大学、招待講演)
- 10) 宮下真理子・藤原重雄・織田顕行「図像確認が困難な中世絵画のトレース図の作成法—飯田市美術博物館蔵「聖徳太子絵伝」の場合—」(文化財保存修復学会、第30記念回大会・ポスター発表、2008年5月17日、九州国立博物館)
- 11) 佐野みどり「記憶のかたち、かたちの記憶」(INALCO源氏シンポジウム(パリ)、2008年3月28日、招待講演)
- 12) 米倉迪夫「図像テキスト研究の課題」(第6部会座長報告、日本における宗教テキストの諸位相と統辞法「テキスト布置の解釈学的研究と教育」第4回国際研究集会、名古屋大学、2008年)
- 13) 佐野みどり「中世掛幅縁起絵のマトリックス」(日波友好50周年記念シンポジウム(クラクフ)、2007年10月27日、招待講演)
- 14) 佐野みどり「風流と造形」(美学会東支部例会、2007年6月2日、慶応大学)
- 15) 佐野みどり「風流の造形」(英国日本学会、2007年3月24日、招待講演)

〔図書〕(計15件)

- 1) 佐野みどり・新川哲雄・藤原重雄編『中世絵画と信仰世界』(青簡舎、2010年9月、全449頁、以下18編の論文を収録。佐野みどり「中世掛幅縁起絵序説」、阿部泰郎「宗教図像テキスト複合としての聖徳太子絵伝」、織田顕行「飯田市美術博物館「聖徳太子絵伝」について」、藤原重雄「掛幅本鞍馬寺縁起絵の絵画史的的位置」、原口志津子「本法寺法華

- 経曼荼羅にみる掛幅説話絵の論理」、池田美弥子「蜜月生まれの絵画—掛幅縁起絵の構造から」、新川哲雄『『一遍聖絵』の語る『聖』』、メラニー・トレーデ「永享五年八幡縁起絵巻の生涯とその余生」、加藤みち子「温泉寺縁起の思想的背景」、林東洋『『古語類要集』にみる十種神宝図について』、小平美香「中世における「子良」の諸相」、米倉迪夫「描かれた明石—法然上人伝法絵と一遍聖絵」、丸山陽子『『伊勢新名所絵歌合の邸宅図と和歌』、阿部美香「二所三島の社頭図—中世霊地図像の展開」、高岸輝「清水寺縁起絵巻の空間と国土」、土谷真紀「鞍馬蓋寺縁起絵巻」における縁起と景観」、上野友愛「洛外名所絵から洛中洛外図屏風へ」、茨木恵美「滋賀県立近代美術館蔵「近江名所図屏風」の景観イメージ」掲載順)
- 2) 佐野みどり『源平の美術』(赤間神宮叢書21、源平シンポジウム委員会、2010年4月、全47頁)
 - 3) 原口志津子編『雲龍山勝興寺所蔵絵画目録』(勝興寺文化財保存活用事業団・チューエツ、2010年、全146頁)
 - 4) 京都大学大学院・文学研究科編『世界の中の「源氏物語」』(臨川書店、2010年、原口志津子「吹抜屋台」について—源氏物語絵巻を中心として—192-206頁)
 - 5) 中世掛幅縁起絵研究会『研究資料 飯田市美術博物館所蔵聖徳太子絵伝』(代表・佐野みどり、2009年、全16頁)
 - 6) 寺田澄江他編『源氏物語の透明さと不透明さ』(青簡舎、2009年、佐野みどり「記憶のかたち、かたちの記憶」43-76頁)
 - 7) Sano Midori "The Narration of Tales, The Narration of Paintings" (Richard Stanley-baker "Reading The Tale of Genji : its Pictures, Scrolls, Texts and Romance" (Global Oriental, Hongkong, 2009, 188p)
 - 8) 高橋慎一郎・千葉敏之編『中世の都市 史料の魅力、日本とヨーロッパ』(東京大学出版会、2009年、藤原重雄「都市の信仰—像内納入品にみる奈良の年中行事—」153-182頁)
 - 9) 瀧浪貞子編『源氏物語を読む』(吉川弘文館、2009年、佐野みどり「描かれた源氏物語」168-182頁)
 - 10) 飯田市美術博物館編『伊那谷の仏教絵画』(同館、2008年、全48頁、佐野みどり・新川哲雄・藤原重雄ほか執筆・作図)
 - 11) 高岸輝『室町絵巻の魔力—再生と創造の中世』(吉川弘文館、2008年、全199頁)
 - 12) Midori Sano "The narration of Tales, The narration of Paintings", THE HISTORY OF PAINTING IN EAST ASIA : Essays on Scholarly Method, Papers Presented for an International Conference, National Taiwan University,

2008, pp.443-458

13) 新関公子監修『イメージとテキスト 美術史を学ぶための13章』(ブリュッケ、2007年、高岸輝「春日権現験記絵巻」の絵と詞書」75-91頁)

14) 日本温泉文化研究会編『温泉の文化誌論集 温泉学①』(岩田書院、2007年、藤原重雄「有馬温泉寺の縁起絵をめぐってー掛幅本と絵巻ー」11-76頁)

15) Akira Takagishi, Vishakha N. Desai (他13名、7番目)"Asian Art History in the Twenty-First Century", Yale University Press, pp. 138-148, 2007.

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

展覧会:

・飯田市美術博物館「トレース図から読み解くー聖徳太子絵伝ー」(ロビー展示、2010年5月16日~開催中)

・学習院大学史料館「掛幅縁起絵研究の現在ー模写・トレース・復元ー」(2009年12月8~12日、主催:中世掛幅縁起絵研究会、協力:飯田市美術博物館ほか)

・飯田市美術博物館「伊那谷の仏教絵画ー聖徳太子絵伝と真宗の宝を集めてー」(2008年9月6日~10月5日、共催)

新聞報道:

『信州日報』2009年12月25日「シンポジウム&展覧会「中世説話画研究の現在」に参加して」

『南信州新聞』2009年12月6日「市美博所蔵の「聖徳太子絵伝」展示ー学習院大学でシンポー」

『信州日報』2009年12月5日「(コラム)視点 研究とは・・・」

『信州日報』2009年12月4日「美博の聖徳太子絵伝を展示ー学習院大のシンポー」

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐野 みどり (SANO MIDORI)

学習院大学・文学部・教授

研究者番号: 60178811

(2) 研究分担者

・新川 哲雄 (SHINKAWA TETSUO)

学習院大学・文学部・教授

研究者番号: 90080374

・阿部 泰郎 (ABE YASURO)

名古屋大学・文学研究科・教授

研究者番号: 60193009

・原口 志津子 (HARAGUCHI SHIZUKO)

富山県立大学・工学部・教授

研究者番号: 40208666

・米倉 迪夫 (YONEKURA MICHIO)

上智大学・国際教養学部・教授

研究者番号: 70099927

・藤原 重雄 (FUJIWARA SHIGEO)

東京大学・史料編纂所・助教

研究者番号: 40313192

・高岸 輝 (TAKAGISHI AKIRA)

東京工業大学・社会理工学研究科・准教授

研究者番号: 80416263

(3) 連携研究者となる者は置かなかったが、主たる研究協力者として下記のメンバーが恒常的に研究の遂行に参画した。また、調査の現場や多分野の先端的な研究に触れることによって、学習院大学大学院生(美術史)の教育・研究の場としても機能し、期間中ないし終了後には、本科研に關係しての各自の研究成果も評価の一端となつて、現在は美術館・博物館学芸員として活躍中である。

・織田顕行(飯田市美術博物館学芸員): 日本中世美術史

・阿部美香(昭和女子大学非常勤講師): 日本中世文学(説話・縁起)

・加藤みち子(学習院大学非常勤講師): 日本仏教思想史

・島田健太郎(同上): 同上

・小平美香(天祖神社神職): 日本神祇信仰史

・林東洋(芝浦工業大学高校非常勤講師): 日本神道史研究

・宮下真理子(東京藝術大学非常勤講師): 保存修復学・日本画家

・鷹野佳世子(東京藝術大学教育研究助手): 同上

・池田美弥子: 日本画家